

物性値モデル(第1速度層下面～第6速度層下面等深線図)のグリッドデータ

- これらのグリッドデータは、微動観測点全35地点の解析結果に基づいて作成した各速度層下面等深線図のデータである。
- グリッドは、調査地域を含む東西25km、南北25kmの矩形領域を東西、南北500m間隔に区切っている。
  - 矩形領域北西角のUTM座標 : 516500, 4780000
  - 矩形領域南東角のUTM座標 : 541500, 4755000
- 各シートとも
  - 1列目 UTM座標(Easting, 単位:m) = x座標
  - 2列目 UTM座標(Northing, 単位:m) = y座標
  - 3列目 各速度層下面の標高(単位:m)
- グリッドデータの信頼できる範囲は、成果報告書に載せた各等深線図のコンター表示範囲を参照していただきたい。
- 第6速度層下面は地震基盤面になるが、地質モデルには、これよりも広範囲で反射法地震探査結果や既存ボーリングデータなどに基づき、重力データも考慮して作成した地震基盤面がある。